

伊勢崎市中心市街地にぎわい創出拠点
基本構想策定に向けた提言

令和8年2月

みんなでつくる中心市街地にぎわい創出拠点検討委員会

目 次

1. 提言書について	1
《目的及び趣旨》	1
2. 基本構想策定に向けた提言	2
(1) 拠点が目指すにぎわいの姿について	2
(2) 拠点整備の方向性について	3
《拠点全体の方向性について》	3
① 図書館機能（新伊勢崎市図書館）	3
② 織物産業伝承機能	4
③ インキュベーション機能（創業支援）	4
④ 広場機能、交通拠点機能	5
⑤ 防災機能	5
⑥ その他の機能（情報発信、利用促進）	5
(3) 事業展開や運営の方向性について	6
① にぎわいを生むための事業展開や運営（機能間の連携・掛け算の思考の展開）	6
② 実効性を高める取組み（市民協働による運営）	6
③ 民間活力導入等による効果的・効率的な事業手法の導入	6
(4) 現伊勢崎市図書館の利活用について	7
(5) その他（基本構想策定後の関わりについて）	7
3. 参考資料	9
(1) 検討委員会委員一覧	9
(2) 検討委員会の経過	10
(3) 市民参加の状況	11
① 高校生グループインタビュー	11
② 市民ワークショップ	11

1. 提言書について

《目的及び趣旨》

本提言書は、伊勢崎市が策定を進める「中心市街地にぎわい創出拠点整備基本構想」に対し、市民ワークショップや高校生グループインタビューの成果を踏まえ、「みんなでつくる中心市街地にぎわい創出拠点検討委員会（以下、「検討委員会」という。）」での議論を集約し、提言として取りまとめたものです。

中心市街地にぎわい創出拠点（以下、「本拠点」という。）が目指す「中心市街地のにぎわい創出」の具現化に向け、施設の使い方や必要な機能、展開すべき事業について整理し、実効性のある基本構想となるよう具体的な意見・提言を行うことを目的とします。

2. 基本構想策定に向けた提言

検討委員会での議論及び市民ワークショップ等での結果を踏まえ、基本構想策定にあたり、以下のとおり市に対する提言を示します。

(1) 拠点が目指すにぎわいの姿について

〈当該拠点整備の位置づけと役割の明確化に期待〉

- 第三のにぎわい創出拠点整備(以下「当該拠点」と称する)が目指す「にぎわい」とは、「様々な交流による“にぎわい”を生み出す拠点となること」を基本とし、当該拠点での交流の中から経済的な活動が生まれ広がることを通じて、周辺地域への商業・経済活動が誘発されることを目指したい。
- 中心市街地の3つの拠点での機能分担を明確にした上で、拠点相互の連携を通じて、中心市街地内を歩いて楽しめるまちづくり(ウォーカブルなまちづくり)として展開されることに期待したい。
- 3つの拠点の連携においては、交通弱者に対しても快適に巡ることができるよう公共交通機関のサービス密度の向上や、レンタサイクルの導入等の移動手段の充実を図るとともに、拠点間での休憩スポットや緑陰の確保等にも配慮したまちづくりが展開されることに期待したい。

〈整備後の活用・市民の関わりこそが重要と捉える〉

- 本提言書に示すにぎわいづくりのアイデアの多くは、施設完成後に多くの市民が訪れる拠点となることを想起したものである。拠点施設の完成を目標とするのではなく、完成後(施設供用後)、様々な方々が施設を訪れ、思い思いの活動をする場所として利用されることに焦点をおくことが大切である。
- 多文化共生も含めて人と人とが実際に交流すること、交流を通じて新たな楽しみが享受され、伊勢崎での豊かなライフスタイルが実現できること等、整備後にも市民が何等かの係りを持って拠点の魅力を高め続けられることが大切である。現在の若者・学生たちが家庭をもって、3世代で訪れる姿もイメージした拠点づくりを構想されることに期待したい。

〈来訪を期待するターゲットのニーズを想起する〉

- にぎわい創出拠点の整備においては、機能・施設ありきではなく、来訪が想定される様々なタイプの人々のニーズ(需要)とウォンツ(欲求)に沿って活動をイメージして、そのために必要なサービス・施設の導入を検討すること(施設ありきではなく活動ありきの思考)に注力いただきたい。

〈拠点完結ではなく拠点からの“にじみ出し”によって回遊を誘発する〉

- 当該拠点で想起される活動ができる機能・サービスのすべてを当該拠点に詰め込むのではなく、駅前や本町通り等、周辺へと“にじみ出す”ことも大切である。それにより中心市街地での回遊が生まれてくるものとなる。

(2) 拠点整備の方向性について

《拠点全体の方向性について》

〈来訪者のライフスタイルに応じて拠点を“シェアする”という考えをもつ〉

- 来訪が期待されるターゲット層により、来訪したくなる時間帯や曜日等が異なる。同じ空間・施設(諸室)においても、曜日や時間帯を組み合わせることで稼働率は向上する。
- にぎわい創出拠点を一週間・一日の中で空間を“シェアする”という考えや、独りで訪れても同じ趣味を持つ仲間づくりにつながり、心や時間を楽しく“シェアできる”という考えを持つことで、空間や諸室が多層的に稼働し、当該拠点でのにぎわいが生み出されることにつながるものとなる。
- 高齢者や障がいのある人等にも来訪しやすく使いやすい拠点整備に期待したい。
- 気軽に立ち寄れる開放的な動線に加え、歴史文化を現代的に表現するなど、旧時報鐘楼を含む周辺環境との調和を図り、訪れる人の心を自然に引きつける魅力的な拠点となることに期待したい。

〈3つの機能が集まることから価値を生み出し特徴ある施設とすることへの期待〉

- 当該拠点には図書館機能、織物産業伝承機能、インキュベーション機能(創業支援)、イベント開催等の広場機能等が導入される。各機能に必要なとされる空間を単に整備するだけでなく、各機能が有機的に連携することによって、当該拠点全体の価値を高め、特徴づけられることに期待したい。

《機能ごとの方向性について》

① 図書館機能（新伊勢崎市図書館）

- 新図書館は複合施設の中核であるとともに、市内の他の図書館との「役割分担」を明確にし、「この図書館でなければならない」という「独自の価値」を構築することが大切である。
- 図書館は「本を通して生活や考え方の質を向上させることができる宝庫」である。従来型の標準的な分類による図書の排架に加え、混排によるテーマ別の排架など、利用者視点で分かりやすい排架を行うことで、様々な情報・資料と出会う機会をつくることが大切である。
- 図書館機能は、その豊富な情報・資料や図書館職員の専門性を生かし、拠点内の織物産業伝承機能やインキュベーション機能等の他の機能と有機的に連携することが大切である。この各機能の効果的な運営を情報面から支援し、「織物と染織」「創業」「市民活動」等に関連する書籍・情報の充実等、特色ある図書館づくりにも繋がることに期待したい。
- 伊勢崎市保健センターとの役割分担・連携を図りつつ、子どもの居場所（サードプレイス）や多様な学びの場所、相談できる場、ヤングアダルトコーナーの充実など、若い世代のニーズに応えるための機能の導入が大切である。

- 市内に暮らす外国人が多い伊勢崎の特色を生かし、様々な言語や国・地域の文化に触れられる等、多文化交流・多文化共生の視点からの学びや交流の機会を充実することに期待したい。
- これからできる新しい図書館として、従来型の考え方により蔵書数に基づき床面積を確保するだけでなく、椅子やソファを配置する等、ゆとりのある開架スペースや滞在空間の確保を考慮し、図書館機能として必要な面積を検討することに期待したい。
- 魅力的な図書館は、運営に携わる人や図書館で活動する人の創意工夫や努力の積み重ねによって実現するものである。従来型の図書館にとらわれない柔軟な運営面の工夫（開館日・開館時間、運営体制等）を含め、新しいアイデアを取り入れていくことに期待したい。
- “静かな図書館”ではなく、子どもがワクワクするようなスペース、みんなとおしゃべりでき、赤ちゃんが泣いても大丈夫なオープンなスペースと、ひとりで静かにゆっくり過ごす空間を併せ持つスペースづくりへの工夫に期待したい。

② 織物産業伝承機能

- 伊勢崎には「織物・銘仙に深く結びつく歴史、文化、先人たち」が存在した。織物産業の伝承をより広い視点で捉え、伊勢崎を支えてきた他の産業と織物産業との繋がりにも光を当てることで、市民がそれらを知る機会が得られることに期待したい。
- 「織物と染織」は伊勢崎の織物産業伝承において重要なテーマである。織物産業を過去の遺産と捉えず未来へ向けての特徴あるアピールのテーマと捉え、織物文化を生かした新たな事業や取り組みへと展開されるきっかけとなることにも期待したい。
- 世界遺産の絹産業遺産群(田島弥平旧宅等)との連携や、隣接するいせさき明治館との役割分担と連携を図り、相乗効果を生み出すことが大切である。
- デジタルを活用して試着が体験できる着せ替え電子パネルや語り部等によるPRによって興味・関心のない人に対して伊勢崎織物の価値をアピールしていくことも大切である。

③ インキュベーション機能（創業支援）

- 当該拠点におけるインキュベーション機能は、にぎわい創出の延長線上にある「なりわい」づくりと捉え、中心市街地における創業支援のハブとして、中心的な役割を担うことに期待したい。
- コミュニティビジネスやソーシャルビジネスを中心に、まずは「小さなチャレンジ」から始め、将来的な「まちなか創業・起業」に繋げていくことが重要である。そのため、当該拠点においては、創業・起業に関する相談窓口やコワーキングスペース、チャレンジショップのように、本格的な事業展開の前に相談したり「試せる」場が設けられることに期待したい。また、当該拠点では、チャレンジする人がいつでも創業・起業を実現した人の経験、知見、アイデアといったアドバイスを受けられるなど、応援・サポートされる仕掛けや体制づくりが充実されることに期待したい。

- インキュベーション機能の導入に当たっては、場の整備（ハード面）だけでなく、専門的なコーディネーターの配置といった運営面（ソフト面）の工夫が不可欠である。創業希望者・起業家同士のマッチングや発表会、プレゼン大会、起業家コミュニティの醸成等、創業支援も視野に入れた積極的な取組みが展開されることが望ましい。さらに、創業だけでなくあらゆる市内事業者の普段の操業に対する支援を含めたバックアップの仕組みづくりや拠点づくりについて、商工団体等の支援機関などとの具体的な検討がなされることに期待したい。

④ 広場機能、交通拠点機能

〈中心市街地の回遊につながる駐車場の適正配置、公共交通機関を充実させる〉

- 自家用車依存の高い地方都市において駐車場の確保は大切な集客要因である。当該拠点に多くの来訪者を誘客し、滞在時間が長くなれば、駐車場の回転率は低下し、駐車場の空間占有率は高くなることが予想され、広場面積が狭くなることが予想される。
- 駐車場から“にぎわい”が生まれることは少ない。そのため広場空間を確保すべく配慮されるとともに、近接地の広場との一体的な活用が可能となるような配慮に期待したい。
- 駐車場の運営についても、図書館来訪者用の駐車場としての限定的な利用だけでなく多様な利用を想定するとともに、料金徴収等についても研究を深めていただきたい。
- 当該拠点整備においては、中心市街地内における公共交通機関の充実や中心市街地全体での回遊を意識した駐車場の適正配置等にも考慮されることに期待したい。
- ピロティによる建物との一体性を持たせた広場空間や、外周部へのテラス席の設置など憩える空間を創出するとともに、飲食できるキッチンカーや販売ワゴンなどの乗り入れが可能なスペースと電源などの設備を確保し、多様なイベントが開催できる広場となることに期待したい。

⑤ 防災機能

〈安心感を生むためには災害の備えが必須である〉

- “安心感のある拠点”となることを期待する背景には、安全・安心な拠点を形成することにある。そのためには災害への備えも必要である。酷暑への対応も、災害級の酷暑とすれば、災害への備えの一つといえる。
- 今後の公共施設の整備においては、緊急時の来訪者への安全確保は必須であり、最低限の防災機能は備えておくことが求められる。

⑥ その他の機能（情報発信、利用促進）

- 中心市街地全体のにぎわい創出に向けて3つの核がそれぞれ毎に躍動するとともに、有機的に連携することで周辺へとにじみ出していることを“見える化”していくことが大切である。当該拠点においては、完成までのプロセスの各段階からの情報発信によっ

て、にぎわいづくりへの関心を喚起する情報が発信され続けることに期待したい。

- 市民が作品を発表できるギャラリースペースなど、文化的な活動の発表の場となることにも期待したい。

(3) 事業展開や運営の方向性について

① にぎわいを生むための事業展開や運営（機能間の連携・掛け算の思考の展開）

〈各機能が“掛け算の思考”により生じる魅力的な活動・サービスが展開される〉

- 図書館、伝承機能、インキュベーション機能のそれぞれにおいて魅力的な活動・サービスが実現することはもちろんのこと、各機能が掛け合わさることで生じる活動・サービスにも期待したい。例えば、図書館にインキュベーションや起業・創業・経営・組織論等に関する書籍・情報や、織物・地元企業に関する書籍、情報コーナーの設置、インキュベーションで生まれたソーシャルビジネスの試験的な場の創出等が想定される。
- 来訪が期待されるターゲット層により、来訪したくなる時間帯や曜日等が異なる。学生の放課後や仕事終わりにも利用することができるような開館時間とするとともに、中心市街地のにぎわいの観点からも休館日の見直しや祝日における開館について検討されることに期待したい。

② 実効性を高める取組み（市民協働による運営）

〈各機能の担当部局間の連携強化に期待する〉

- 複合機能を構成する施設について、市役所内では教育委員会(図書館)、文化財、商工、中心市街地、都市計画、企画等、様々な部署で実現に向けて検討されていると思われる。各部署の垣根を下げて、部署間の連携を強めて、利用者目線での施設づくりに期待したい。

〈市民の声（期待）が継続して届く仕組みづくりに期待する〉

- 検討委員会での議論、高校生グループインタビュー及び市民ワークショップ等の取組みを通じて、利用者の視線で様々なアイデアが提案された。これらの意見に傾聴され、アイデアの一つ一つの実現に尽力いただきたい。なにより大切なことは、構想で終わらず、実現・実行することである。実現までの様々な機会に、市民の声(期待)が届くような仕組みを継続的に設けられたい。

③ 民間活力導入等による効果的・効率的な事業手法の導入

- 近年の建設物価の動向は、資材価格の高騰や建設業界における担い手不足等の影響により、上昇傾向が続いている。本拠点の整備にあたっては、こうした社会経済情勢を十分に注視し、将来にわたって持続可能な施設運営を見据えた慎重な予算管理が求められる。
- 限られた財源の中で最大限の効果を発揮するため、従来の手法に捉われず、PPP/PFI手法などの導入を積極的に検討されたい。民間の知見やノウハウを設計・建設・維

持管理の各段階で活用することで、トータルコストの縮減や公共サービスの質的な向上を図ることを期待する。

- 事業手法の選定にあたっては、コスト面のみならず、本提言で示した「にぎわいの創出」や「各機能の有機的な連携」が最も効果的に実現できる枠組みを精査し、スピード感を持った事業推進に努めていただきたい。

(4) 現伊勢崎市図書館の利活用について

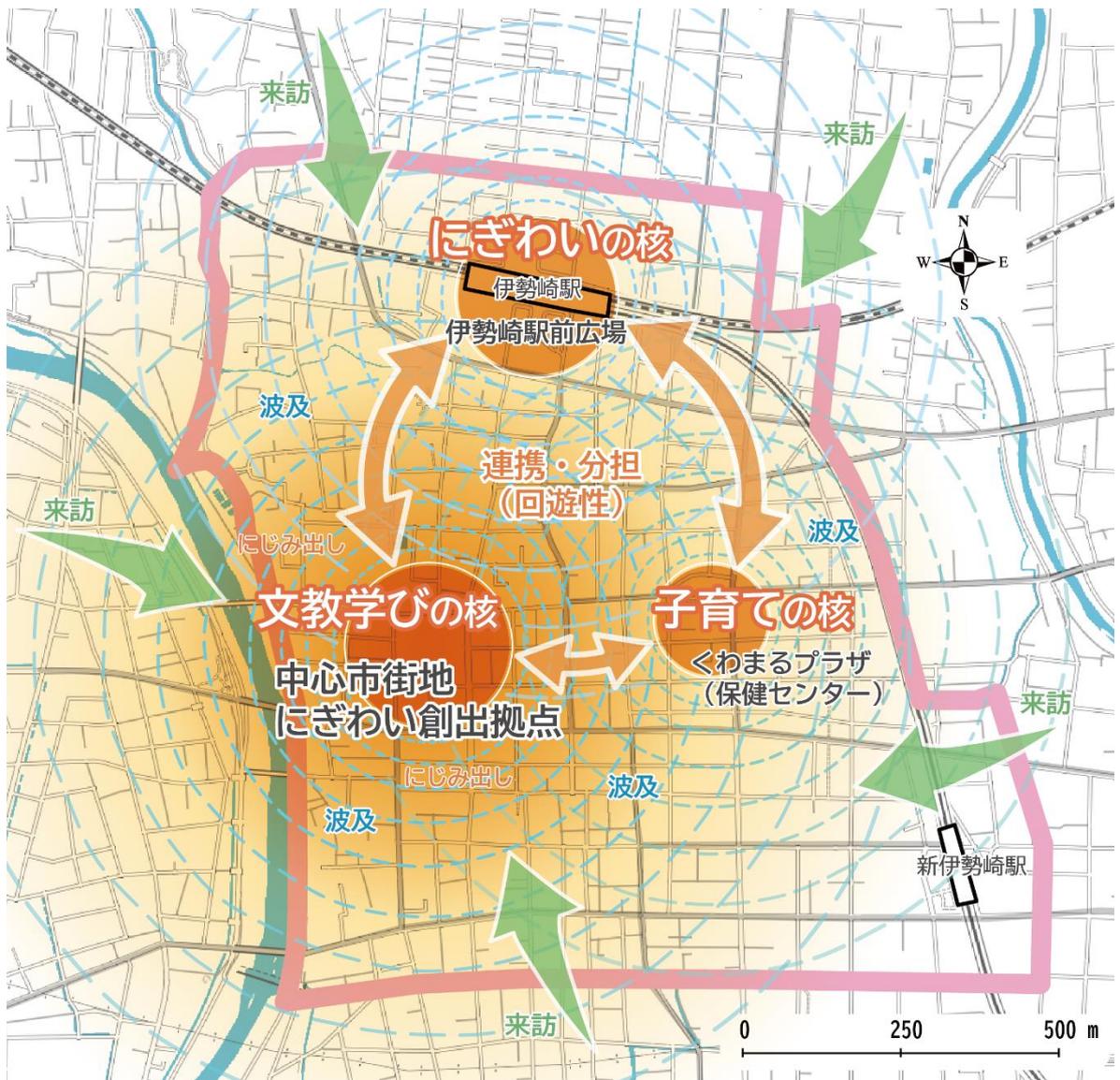
- 現伊勢崎市図書館移転後の現有施設又は跡地の利活用は、市民の期待を十分考慮しつつ、当該拠点の機能とも連携し、「文化的な香り」のする中心市街地の形成に資するよう検討されることに期待したい。
- 利活用として、当該拠点からの「にじみ出し」や「回遊の仕掛けづくり」に繋がる要素を導入することで、中心市街地全体でのにぎわい創出に寄与することに期待したい。

(5) その他（基本構想策定後の関わりについて）

〈継続的な検討体制の構築と専門性の活用〉

- 基本構想に掲げた各機能が有機的な連携を生み出し、実効性のあるものとするためには、策定後も多角的な視点から検討を深める体制を維持することが重要と捉える。
- 図書館機能については、既存の図書館協議会等の組織とも緊密に連携を図り、さらに深掘りした具体的な検討がされることに期待したい。
- 織物産業伝承機能及びインキュベーション機能においては、歴史文化の継承と現代的なビジネス支援という専門性の高い領域であるため、専門知識を有する有識者を交えた検討の場を継続して設けることに期待したい。

■ にぎわい創出のイメージ図



3. 参考資料

(1) 検討委員会委員一覧

No.	役職	氏名	選出区分	所属団体等
1	委員長	大下 茂	学識経験を有する者	内閣府地域活性化伝道師
2	委員	稲葉 友昭	学識経験を有する者	元群馬県立図書館長
3	委員	中村 光一	学識経験を有する者	上武大学 教授
4	委員	黒田 亮子	学識経験を有する者	元群馬県立館林美術館長
5	委員	佐嶋 洋子	学識経験を有する者	(公財)群馬県産業支援機構専務理事
6	副委員長	中西 保	市内の関係団体等を代表する者	伊勢崎市区長会会長
7	委員	笠原 実	市内の関係団体等を代表する者	いせさき街並み研究会会長
8	委員	佐塚 公代	市内の関係団体等を代表する者	読書の街いせさき推進会議代表
9	委員	木暮 修	市内の関係団体等を代表する者	伊勢崎商工会議所専務理事
10	委員	吉田 努	市内の関係団体等を代表する者	伊勢崎金融懇話会会長
11	委員	町田 裕之	関係行政機関の職員	群馬県中部振興局長
12	委員	高山 華代	導入機能に知見を有する者	個人事業主
13	委員	菅家 世誉	導入機能に知見を有する者	会社役員
14	委員	青木 優也	公募による市民	-
15	委員	皆瀬 勇太	公募による市民	-
16	委員	栗田 一幸	公募による市民	-
17	委員	栗原 大樹	公募による市民	-
18	委員	齊藤 宏平	公募による市民	-
19	委員	須田 満	公募による市民	-
20	委員	高橋 陽子	公募による市民	-
21	委員	千葉 敦子	公募による市民	-
22	委員	茂木 宏美	公募による市民	-
23	委員	矢島 宜弘	公募による市民	-

(2) 検討委員会の経過

第1回検討委員会 令和7年7月18日（金曜日）

時間：午後2時～

場所：地域交流センター赤石楽舎

1. 委嘱状交付式
2. 第1回検討委員会
 - (1)委員長及び副委員長の選出
 - (2)これまでの検討経緯及び今後の進め方
 - (3)オープンハウスの結果概要
 - (4)先進事例の紹介
 - (5)その他

先進地視察 令和7年8月5日（火曜日）

時間：終日

場所：塩尻市市民交流センターえんぱーく（長野県塩尻市）

第2回検討委員会 令和7年9月24日（水曜日）

時間：午後2時～

場所：地域交流センター赤石楽舎

1. 報告事項
 - (1)先進地視察のふり返り
 - (2)公民複合施設の規模のイメージと先進事例の事業費
 - (3)高校生 GI 及び市民 WS の検討成果報告
 - (4)検討委員会の議論の進め方について
2. 検討事項
 - (1)図書館機能/織物産業伝承機能/
民間機能(インキュベーション機能・利用促進機能)/
その他機能(広場・駐車場など)について

第3回検討委員会 令和7年10月31日（金曜日）

時間：午後2時～

場所：地域交流センター赤石楽舎

1. 報告事項
 - (1)市民 WS の検討成果報告
2. 協議事項
 - (1)基本構想策定に向けた提言

第4回検討委員会 令和8年2月5日（木曜日）

時間：午後2時～

場所：地域交流センター赤石楽舎

1. 報告事項
 - ・パブリックコメントを踏まえた基本構想(案)の報告
2. 協議事項
 - ・提言書の確定と市長への提出

(3) 市民参加の状況

① 高校生グループインタビュー

○伊勢崎興陽高等学校

日程：令和7年6月30日(月曜日)

参加者：7名(女子学生4名、男子学生3名)

○伊勢崎清明高等学校

日程：令和7年7月8日(火曜日)

参加者：8名(女子学生6名、男子学生2名)

② 市民ワークショップ

第1回ワークショップ 令和7年8月9日(土曜日)

時間：午後2時～

場所：地域交流センター赤石楽舎

参加者：18人

プログラム：

- ・ 現地確認
- ・ にぎわい創出に期待すること
- ・ 拠点のにぎわいの“姿”

第2回ワークショップ 令和7年8月23日(土曜日)

時間：午後2時～

場所：地域交流センター赤石楽舎

参加者：20人

プログラム：

- ・ ターゲットとにぎわいのイメージ
- ・ ターゲットの活動実現のための機能やサービス

第3回ワークショップ 令和7年8月30日(土曜日)

時間：午後2時～

場所：地域交流センター赤石楽舎

参加者：19人

プログラム：

- ・ (続)ターゲット別の機能・サービス
- ・ 拠点を訪れるきっかけづくり(情報発信)と交通手段の想定

第4回ワークショップ 令和7年10月4日(土曜日)

時間：午後2時～

場所：地域交流センター赤石楽舎

参加者：19人

プログラム：

- ・ 開業後の市民の参加について

伊勢崎市の中心部に“にぎわい”を生み出すために

高校生グループインタビュー 実施結果

『伊勢崎市中心部のにぎわい拠点創出のために…』をテーマに、高校生の視点からのアイデアを自由に語っていただきました。



【ご協力いただいた高校】

伊勢崎興陽高校 2025年6月30日(月)
7名(女子学生4名、男子学生3名)

伊勢崎清明高校 2025年7月8日(火)
8名(女子学生6名、男子学生2名)



“まちなか”のイメージは？

にぎやか

人が多い

人と人のふれあいがある

他にもこんなイメージも出されました！

都会／街のシンボル／駅／商店街／ショッピングモール／ファストフードが多い／ビルが高い／信号が多い／タクシーがある／歩行者が多い／地価が高い／公園がある／おいしいものが多い／ごみがいっぱい／歩く／おしゃれ／楽しい／集まれる場所／たくさんの世代／あたたかい人との触れあい など

こんな図書館ならもっと行きたい！

■ オシャレな外観、映え

- 図書館の外観がきれい「映えスポット」になるような施設であれば…
- おしゃれな外観がよい(太田駅近くの図書館のような…)

■ 解放感やオープンな雰囲気

- 明るくオープンな雰囲気であれば…
- 窓が大きくて解放感があれば入りやすい図書館になる

■ 利用方法

- 友達と一緒に勉強できるような「スタディルーム」があれば…
- 「友達同士で話しながら勉強ができるようなスペース」があれば…
- 音楽を聴きながら勉強できる空間があれば…
- 個人用の机がたくさんある「静かな自習室」が充実しているとよい
- 開架の図書室でも座って本が読めるとよい

■ 利用時間

- 20時くらいまで開いていれば…

■ 飲食や売店

- 売店(飲み物や文具類等)や飲食ができるスペースが併設されているとよい
- 自販機や冷水器が欲しい

■ 利用や来訪を増やす取組

- 蔵書の種類をもっと多く、特に「中高生向けの本」が増えると良い
- みんなが参加できるようなイベント(告知も大事)があれば…
- インスタで新着情報を発信するなど、SNSをもっと活用するとよい
- 図書館の会員制や来訪ポイントがあれば行きたくなる。
⇒ポイントは売店で使える。
⇒ランクアップすると本に関するアイテムがもらえる(しおり、マイブックカバー等)
⇒一般図書カードからシルバーカード、ゴールドカード、プラチナカード、ダイヤモンドカードへとランクアップする

■ その他

- バスなどで図書館までのアクセスが良くなれば…

にぎわい拠点でこんなことができるといいな

■ にぎわい拠点のイメージ

- テーマとしては「一日いて楽しめるところ」(お風呂+マンガ喫茶の施設ように)
- ふらっと立ち寄れる場所

■ さまざまな活動や交流ができる機能

- 防音装置のあるスペースで軽音楽等が楽しめる空間・スタジオ
- ストリートバスケットやバレーなど軽いスポーツ(体を動かせる場所)と勉強ができる空間
⇒一人で行っても楽しめたり、大人ともプレーできるとより楽しい
- チャレンジショップはあったらよい(高校ではピクルスをつくって販売している)
- 趣味の工作室等
⇒共通の趣味(工作・模型・折り紙等)をもつ年代が異なる人との出会いにもなる
- ちょっとしたイベントができるスペース、展示会ができるスペース
- インスタ等でPRすることで仲間がひろがる

■ 施設に付随する機能や周辺・屋外空間

- 周りに色々なお店(飲食・ちょっとした買い物・遊び道具等)があると行きたくなる拠点になる
⇒キッチンカーやワゴン車で販売が可能な拠点
- 自然(芝生・木かげ・みどり)や噴水(子どもも遊べるし映えスポットにもなる)
- ドッグランで犬連れにもやさしく
- 外にアーケードがあって、日影ができ、ミストが出て涼める

■ 多世代の交流の機会

- 世代間交流(少し年上のお兄さん、お姉さんなど)話をしたい
- 小さい子どもが遊べるスペースを大きく ⇒ママ友が子どもを遊ばせながら交流できるとよい
- 外国の人も行きやすい場所に ⇒国際交流も生まれる

■ 利用時間

- にぎわいが生まれてくれば、20:00~21:00くらいまでは滞在したい。駅に近いので、他地域からも訪れることが予想される。

■ その他

- フォトスポット・映えスポット
- プリ機・プリクラ ⇒図書館の新刊PRや図書館の職員PR
- フリーWiFiや充電コーナー(スマホも人も)
- オリジナルキャラクターがあれば親しみやすい
- 屋内に木があると、新しいし、話題性があるとおもしろい(拠点の周辺環境について)
- 商店街はシャッター街となっていて暗い・こわいイメージがある
⇒レトロな商店街として新しく整備する
- 図書館⇄駅の間には街灯があるとよい



ご同席いただいた先生からもご意見をいただきました！

- 高校生が地元の異世代と気軽に交流しマッチングできる「オトナの部室」のような場所があるとよい
⇒高校生が地元の大人に気軽な相談ができて、ゆくゆくは起業のきっかけになるような交流が生まれるとよい



市民ワークショップの開催

NO	開催日	参加者数	検討プログラム(話題提供・検討テーマなど)
第1回	令和7年 8月9日 (土)	18名	<p>【はじめに】</p> <p>①中心市街地にぎわい創出拠点整備基本構想(素案)について ②にぎわい創出拠点の市民ワークショップのスケジュール ③対象地の確認</p> <p>【話題提供】</p> <p>『構想づくりのポイント—拠点での姿を描く!!』</p> <p>【検討テーマ】 にぎわいを生み出すために</p> <p>①にぎわい創出の拠点到期待すること ②対象地でどのような“にぎわい”の姿がイメージされるか?</p>
第2回	8月23日 (土)	20名	<p>【報告】</p> <p>①高校生のグループインタビュー実施結果 ②前回ワークショップの振り返り</p> <p>【話題提供】</p> <p>『人の気を惹く創出拠点のために—ターゲットと活動内容』</p> <p>【検討テーマ】 ターゲットを意識したにぎわいづくりのために ターゲットのニーズ・欲求を想定したにぎわいの姿・活動と実現のための機能・施設・サービス</p> <p>※想定したターゲットは次の6タイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ファミリー層・親子で楽しめる拠点 ②若者・高校生等が楽しめる拠点 ③シニア層が楽しめる拠点 ④女性が行きたくなる拠点 ⑤ペットと一緒に楽しめる拠点 ⑥子どもたちだけでも楽しめる拠点
第3回	8月30日 (土)	19名	<p>【報告】</p> <p>①前回ワークショップの振り返り</p> <p>【検討テーマ】 続・ターゲットを意識したにぎわいづくりと、「情報」「交通」について</p> <p>①“ひとりでも楽しめる”にぎわい創出拠点のイメージとサービス ②拠点を訪れるきっかけづくり(情報発信の効果的な方法)と利用者の交通手段を想定した受け入れの仕組みづくり</p> <p>【総括】みんなでつくる中心市街地にぎわい創出拠点検討委員会(9/24)への報告について</p> <p>—多層的な空間づくりに向けて (にぎわい創出に向けて多様な期待が重なる拠点づくり)</p>



市民ワークショップの6つの総括

ポイント① 目標をどこに置くかが大切・・・整備後の活用・市民の関わりこそが重要!!

市民ワークショップでのにぎわいづくりのアイデアの多くは、施設完成後に多くの市民が訪れる拠点となることを目指したものである。拠点施設の完成を目標とするのではなく、完成後、様々な方々が施設を訪れ、思い思いの活動をする場所として利用されることが大切である。多文化共生も含めて人と人とが実際に交流すること、交流を通じて新たな楽しみが享受され、伊勢崎での豊かなライフスタイルが実現できること等、整備後も市民が何等かの係りを持って拠点の魅力を高めつづけられることが大切である。現在の若者・学生たちが家庭をもって、3世代で訪れる姿もイメージした拠点づくりを構想されることに期待したい。

ポイント② 来訪に期待するターゲットのニーズを想起することでにぎわいの姿がみえてくる

拠点への来訪が期待されるターゲットを絞って討議したことから具体的なかつ多様な活動の姿がイメージされ、その実現のためのサービス・施設が提案された。にぎわい創出拠点の整備においては、機能・施設ありきではなく、来訪が想定される様々なタイプの人々のニーズ(需要)とウォンツ(欲求)に沿って活動をイメージして、そのために必要なサービス・施設の導入を検討すること(施設ありきではなく活動ありきの思考)に注力いただきたい。

ポイント③ ターゲットとなる来訪者のライフスタイルに応じて拠点を“シェアする”こと!!

来訪が期待されるターゲット層により、来訪しなくなる時間帯や曜日等が異なる。同じ空間・施設(諸室)においても、曜日や時間帯を組み合わせることで稼働率は向上する。にぎわい創出拠点を一週間・一日の中で空間を“シェアする”という考えを持つことで、空間や諸室が多層的に稼働し、にぎわいが生み出されることにつながるものとなる。

ポイント④ 拠点完結ではなく拠点からの“にじみ出し”が大切、回遊を誘発することにも!!

すべての活動ができる機能・サービスをこの拠点到詰め込むのではなく、駅前や本町通り等、周辺へと“にじみ出す”ことも大切。それにより中心市街地での回遊が生まれてくるものとなる。にぎわい創出拠点での整備をきっかけに、現図書館の跡地利用や中心市街地全体での歩いて楽しめる回遊の仕掛けづくり等も併せて検討されることに期待したい。

ポイント⑤ 中心市街地の回遊につながる駐車場の適正配置も考慮した整備に期待!!

自家用車依存の高い地方都市において駐車場の確保は大切な集客要因である。にぎわい創出拠点に多くの来訪者を誘客し、滞在時間が長くなれば、駐車場の回転率は低下し、駐車場の空間占有率は高くなることが予想され、広場面積が狭くなることが予想される。第三のにぎわい創出拠点整備にあたり、中心市街地内における公共交通機関の充実や中心市街地全体での回遊を意識した駐車場の適正配置等にも考慮されることに期待したい。

ポイント⑥ 安心感を生むためには災害への備えは必須!!

“安心感のある拠点”となることを期待する背景には、安全・安心な拠点を形成することにある。そのためには災害への備えも必要である。酷暑への対応も、災害級の酷暑とすれば、災害への備えの一つといえる。今後の公共施設の整備においては、緊急時の来訪者への安全確保は必須であり、最低限の防災機能は備えておくことが求められる。

にぎわい創出拠点に期待すること

にぎわいを生む要素

- 人がたくさんいること
 - 「家族全員が…」「お年寄り子どもが…」「親子で…」
 - 「子どもたちだけ」でも楽しめる
 - 「女性」が行きたくなる
 - 「ひとりでも」
 - 「ペットと一緒に」等
- 気軽に訪れることができること／一人でも気まずくないこと
- 行きやすいこと(交通の充実/安心・安全/夜遅くても……)
- 若者の気を惹く(ウケる・映える)こと
- 食&ショッピングが楽しめること

イメージ・キャッチ

- サードプレイス(第3の自分の居場所)
- 気軽に立ち寄れる場所に／ゆっくりと楽しめる場所に／時間をつぶせる場所に…
- わざわざ電車で行きたくなる
- 自由度の高い施設
 - ◆◆◆他にもこんなキーワードも出されました！◆◆◆
 - 『笑顔』『会話・交流(世代を超えた交流)』『つながり』『学習』『共生』『文化・情報』『わくわく』『懐かしさ』『多文化共生(外国人も楽しめる)』『参加性』

にぎわい創出拠点整備から生み出されるもの

- 経済の持続と発展
- 伊勢崎を自慢できる／全国から注目される
- 伊勢崎の歴史がわかる
- 子育てしやすい
- 子ども一人でも楽しめる
- ものづくり(織物)の町としての再生
- 施設内だけでなく屋外でも楽しめる
- 周辺(駅周辺や本町通り等)への回遊も～

拠点でイメージされるにぎわいの姿

機能	イメージされる“にぎわい”の姿
全体イメージ	<ul style="list-style-type: none"> □行ってみたいくなる施設に!!／みんなが楽しめる施設に!!／周辺とのつながりを!!／「この町に生まれてよかった」と感じられる空間を!!／伊勢崎の原風景になれば… □環境に配慮しオシャレな施設に(見栄えは大切!!) □自慢できる拠点に □赤石楽舎と連動した拠点整備を…
図書館・情報	<ul style="list-style-type: none"> □静かな場所と話のできる場所を区切った施設／勉強や仕事ができる空間／学習室の充実／ソファの設置／防音室(カラオケ等) □体験型施設／VRコーナー／趣味の部屋／無料ジム／趣味やサークル活動ができる施設 □明るくて広いエントランス／みはらしの良い屋上空間／壁面活用 □購入もできる図書館／本屋の併設 □カフェ併設／食べながら学習できる図書館／睡眠コーナー／ジム・シャワー／ブリクラ機 □イベント開催(映画鑑賞、読み聞かせ、地元作家・著名人の講演等) □外国人居住者の母国の本の充実、マンガ本・ポップ文化コーナーの充実 □ワンコインサービス、カフェ、乳幼児の利便施設 □開館時間の延長化・365日開館を希望、多くの鏡を… 等
織物文化・銘仙	<ul style="list-style-type: none"> □織物文化として…「文化継承だけでなく新たな文化として展開」伊勢崎民謡・伊勢崎の歴史 □デジタル技術の活用／ガイド解説 □銘仙リバイバル:織物体験、銘仙を使ったリメイク古着(SNS映え) □銘仙を活かしたものづくりワークショップ・グッズの創出 □銘仙のファッションショー開催、お土産物の販売 等
創業・チャレンジ	<ul style="list-style-type: none"> □創業・チャレンジ…NPO等が使える貸し会議室／創業の相談窓口／コワーキングスペースの充実 等 □伊勢崎企業のPRコーナー(企業史)、学生限定の出会いの場を…
広場・屋外空間	<ul style="list-style-type: none"> □BBQ広場／屋台・縁日／チェアリング／キャンプ／ピクニック／手持ち花火／水遊び・噴水広場等 □スポーツ交流／3on3バスケット／散策・ウォーキングコース □音楽イベント・ステージ／桐生祭りのように踊りの場として □キッチンカーによる食の提供／食(地粉をつかったうどんコーナー、やきまんじゅうカフェ) □ドッグラン／キャットウォーク □古着等のフリマ □くわまる等のキャラクターと遊ぶ、大道芸人が活躍する場 □屋外映画館／パブリックビューイング □足湯(冷・温、ナイト足湯、流れる足湯、足湯カフェ、足湯BAR) □自然との一体感／自然豊かな空間／憩いの空間 □遅くまで利用できるバスの運行を!! 等
まちなか(にじみ出し)	<ul style="list-style-type: none"> □レンタサイクルの設置、駐輪場の充実 □循環バスによる駐車場との連携(地域外の駐車場とのシャトル運転) □赤石楽舎との連携、ペット関連のサービス(隣接地) □伊勢崎駅からのアプローチに街路樹を!! □駅前から拠点につながる水路、駅前温泉施設

【参考②】ターゲットのニーズ・欲求を想定した“にぎわい”の姿・活動と実現のための機能・施設・サービス

※第2回市民ワークショップ(8/23)、第3回市民ワークショップ(8/30)での討議内容結果より

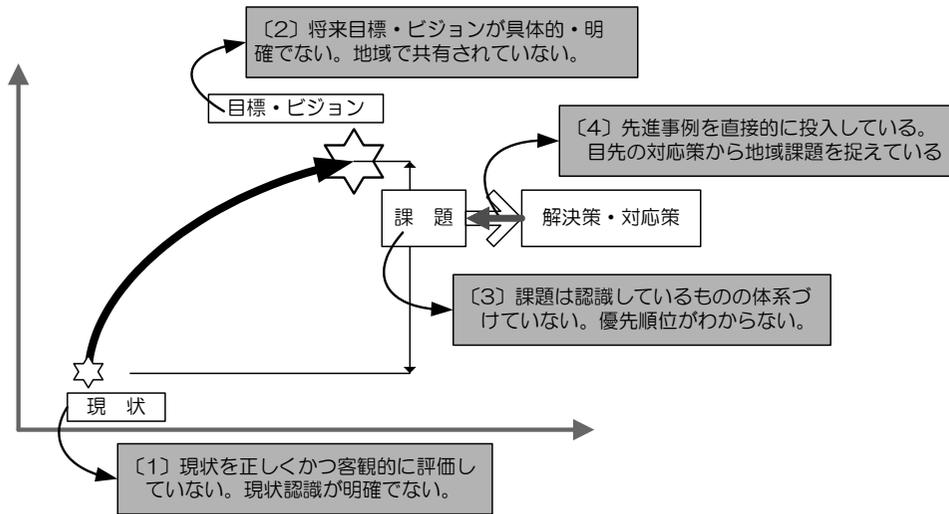
ターゲット想定	期待される“にぎわい”の姿・特徴的な活動	図書館/織物・伝承機能/創業支援機能	広場	その他
シニア層が楽しめる拠点 (60歳以上・孫がいる世代) 	<input type="checkbox"/> 若い世代と交流やふれあいの機会になったり、 子どもや若い世代に教える(囲碁や将棋、料理など)／若い人から教わる事ができるような多世代の交流の機会 となるようにする。 <input type="checkbox"/> 歴史や資格の講座、スマホ教室、ゲームや健康麻雀、伝統芸能、名画座、ヨガ・フラダンス・カラオケ・料理・編み物などのサークル活動と発表の場、軽運動や体操できるスペース、相談コーナーや意見箱(議員への陳情や困りごとなど)、行政窓口(住民票や戸籍など)、エレベーター	<input type="checkbox"/> 静かに本を読むことができる スペース と、井戸端会議のように おしゃべりしたりゆっくり休憩したりできるスペース を分ける。 <input type="checkbox"/> 自身の勉強や学び、娯楽、スポーツ・健康づくりのほか、趣味やサークル活動(健康麻雀など)ができる施設にする ⇒いろいろな使い方ができるように <input type="checkbox"/> 孫と一緒に過ごすことができる(散歩や絵本を読む、トランプ、卓球、ジジババと孫だけで来られる) <input type="checkbox"/> じっくり終活に向き合う「終活コーナー」	<input type="checkbox"/> 散策やウォーキングコース、ベンチ、花や自然を楽しめる	<input type="checkbox"/> 無料バスなどの交通アクセス <input type="checkbox"/> 駅や周辺施設との接続(駅や赤石薬舎との空中通路や川でつなぐ) <input type="checkbox"/> お年寄り割引、営業時間(朝早くから利用できる)
若者・高校生が楽しめる拠点 	<input type="checkbox"/> 施設の内外で、笑顔、ぬくもり、人情味があふれ、施設での体験・経験を通して、 伊勢崎(ここに)に住みたい、結婚したい、子育てしたい と思ってもらえたら最高！若者たちが振り返ったときに、 伊勢崎の原風景 となるような施設となしてほしい。 <input type="checkbox"/> 友だちとワイワイ集って(カップルで)、歌ったり、くつろいだり、運動したり、食事をしたり、共通の趣味で楽しんだり、写真を撮ったり、まちあわせに使ったり、時には集中して勉強をしたり、思い思いの楽しみ方で過ごすことができる『 自由度の高い 』施設。 <input type="checkbox"/> 車で移動できない若者が、近隣市から わざわざ電車 で来たくなるような施設	<input type="checkbox"/> 図書館・・・ マンガ本 充実度県内一、 ポップ文化 (アニメ、漫画、キャラクター)コーナーの充実、バランスボールの椅子、学習室、個室の多目的スペース(夜間あいている)、横になれるようなスペース、ジム・ シャワー (部活後の汗を流す)、 防音(カラオケ)ルーム 、カフェ(個性的な/プチプラフードの充実)、 プリクラ機 、赤城山・粕川が展望できる場所等 <input type="checkbox"/> 織物・伝承機能・・・織物だけでなく、 伊勢崎の民謡 の伝承等 <input type="checkbox"/> 創業支援・・・学生限定の 出会いの場 (異性との出会い/先輩との出会い)等	<input type="checkbox"/> 足湯(イルミネーション/ひよこ)、ベンチ、屋外映画館 <input type="checkbox"/> マイナー運動施設等 <input type="checkbox"/> キッチンカーによる食の提供 <input type="checkbox"/> スポーツ交流、3on3バスケット	<input type="checkbox"/> ポイ活(来館ごとにISECAポイント付与 等) <input type="checkbox"/> レジはあえて有人レジ(人情味ある交流の場) <input type="checkbox"/> 学割 <input type="checkbox"/> 夜間も使えるフリースペース
ファミリー層・親子で楽しめる拠点 	<input type="checkbox"/> 親子、三世代が「安心」「楽しみ」「知育」をキーワードとして『 拠点全体で一日過ごせる 』ような施設・サービスを提供する。 <input type="checkbox"/> 特に 乳幼児の利便施設 の充実(おむつ替えスペース、授乳スペース、子どもトイレ、乳幼児も気兼ねしない食事スペース、ベビーカー置き場)等 <input type="checkbox"/> 外国籍のファミリーの交流ができる 多文化共生に関する機能・サービス 等	<input type="checkbox"/> 図書館・・・それぞれの年代を象徴する書籍の充実、絵本等の読み聞かせ、学習発表会、会話ができるスペース、多文化共生(様々な言語・国の書物の充実)等 <input type="checkbox"/> 織物・伝承機能・・・伊勢崎の歴史等にも広げた展示、地元企業の歴史等 <input type="checkbox"/> 創業支援・・・職業体験施設、親子で楽しめる体験型施設、ものづくり体験等	<input type="checkbox"/> 手持ち花火 <input type="checkbox"/> 音楽イベント、農業体験(市内生産者との交流) <input type="checkbox"/> 運動スペース、水遊び <input type="checkbox"/> チェアリング、キャンプ、ピクニック <input type="checkbox"/> 外周部にテラス席	<input type="checkbox"/> 冷・暖の確保等
子どもたちだけでも楽しめる拠点 (小中学生) 	<input type="checkbox"/> 子どもたちが安心して利用できるための、 防犯対策や見守りなど大人の関わり (大人の監視員、気軽に話ができる大人)や 居場所づくり (フリースクール的な相談室)、子どもの利用時間を分ける、オンラインの入館証(親に通知が届く仕組み)	<input type="checkbox"/> 子ども向けの図書の蔵書ほか、本を探す相談機能なども <input type="checkbox"/> さまざまな体験 (ものづくり、科学、料理、文化、お仕事体験、eスポーツ)、運動やスポーツ(サッカー、バスケット、バドミントン、卓球)、ゲームやアニメ、昔遊びなど <input type="checkbox"/> 勉強や宿題、習い事(学習室、プログラミング教室、子ども新聞、タブレット貸し出し)ができたり、 勉強を通じて違う学年と交流 (勉強を教えもらう)できる		<input type="checkbox"/> 駐輪場の充実 <input type="checkbox"/> 自販機や無料の給水機 <input type="checkbox"/> 子どもを見渡せる空間のしつらえ
女性が行きたくなる拠点 	<input type="checkbox"/> 気兼ねなく 長時間ゆっくり会話 をしたり、落ち着いて 食事 を楽しんだり、 おしゃれを楽しんで 写真を撮ったり、 推し活 をしたり、 健康や癒し を感じられるような施設 <input type="checkbox"/> 夢と未来が妄想できる、 新たな自分 が発見できる、 物語(ストーリー) が語れる場所	<input type="checkbox"/> 図書館・・・幼い子どもを 安全に遊ばせられる スペース(ママ友と話をしながら)、 日本一のトイレ (メイクスペースの充実)、保育園や病院の口コミなど、子育て情報が共有できるコーナー、 鏡を多く 設置、 カフェ (おしゃれ/プチプラ)等 <input type="checkbox"/> 織物・伝承機能・・・ヴィンテージものを使ったアクセサリ作り体験 <input type="checkbox"/> 創業支援・・・アクセサリ作り、編み物などママが 1日チャレンジワークショップ をできるような場所、 創業相談機能、伊勢崎企業のPR コーナー等	<input type="checkbox"/> 子ども連れで子どもも騒げるような、 わいわいガヤガヤ広場	<input type="checkbox"/> ワンコイン サービス(ドリンク+フード/マッサージ)、 <input type="checkbox"/> おしゃれなBGM 、K-POP関連 <input type="checkbox"/> 男性と出会う場、気軽に 婚活 登録 <input type="checkbox"/> いろいろな 占い ・相談 等
ペットと一緒に楽しめる拠点 	<input type="checkbox"/> ペットを通じた交流・コミュニケーションの拡大 が期待される。 <input type="checkbox"/> ペットと一緒に食事サービス、ドッグラン・キャットウォーク等の設備、フォトスポットの設置、ペット一時預かり所、ワンちゃんファッションショー等の拠点への導入も期待される。	<input type="checkbox"/> 創業支援として、ペット関連のビジネス(動物病院・診療施設、ペットの健康相談、ペット相談窓口、ペット美容室(トリミング)、ペットのおもちゃやペットフードの販売、ペット衣料等)として、周辺での創業によりペット連れで訪れるきっかけづくりにもなる(ペット関連での拠点周辺への波及効果)		

※いずれの想定ターゲットがひとりで訪れても、「気まぎれなくひとり時間を楽しめる」ようにするとともに、「ひとり」が集まっても誰かと交流でき、絆やふれあいを感じられる施設となることが期待される。

話題提供①

【第1回WS】構想づくりのポイントー拠点での姿を描く!!

構想・計画づくりで陥りやすい4つのポイント

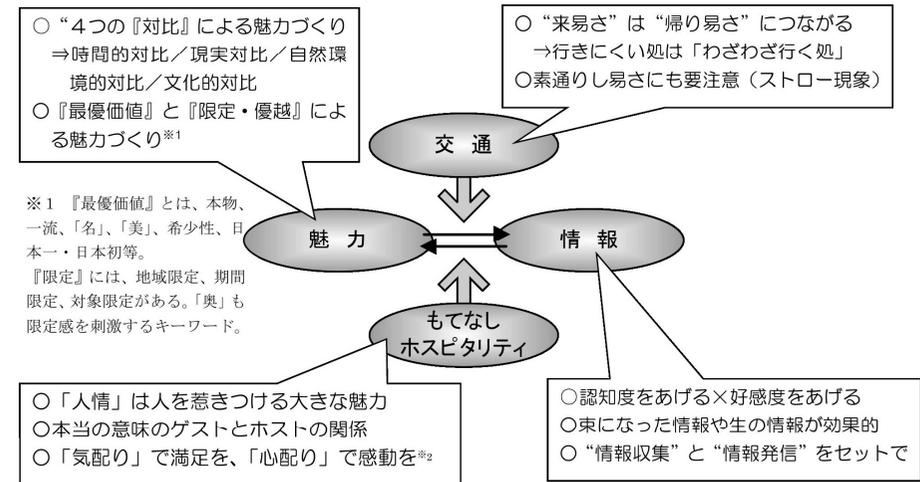


正しく・客観的に地域の課題を認識・共有化できないことの問題点の所在

話題提供②

【第2回WS】人の気を惹く地域となるための4つの要因

- ①【交通】～“行き易さ”と“帰り易さ”そして“素通りし易さ”に要注意
- ②【人を惹きつける魅力】～4つの対比、最優価値、限定・優越
- ③【情報】～認知度をあげる×好感度をあげる
- ④【ホスピタリティ】～地域ぐるみでの展開



※2 『気配りで満足を、心配りで感動を』は、千葉県香取市佐原の佐原おかみさん会の活動のスローガンとなっている。

出典：帝京大学観光経営学科『観光まちづくり論Ⅱ(大下担当)』、第2講レジュメ

- 市民ワークショップでのにぎわいづくりのアイデアの多くは、施設完成後に多くの市民が訪れる拠点となることを目指したもの。
- 拠点施設の完成を目標とするのではなく、完成後、様々な方々が施設を訪れ、思い思いの活動をする場所として利用されることが大切。
- 整備後も市民が何らかの関わりを持って拠点の魅力を高めつづけられることが大切。



【交通】広場空間確保>敷地内駐車場への配慮に期待

- 駐車場確保は大切。必要な駐車容量の確保により広場空間が狭くなるのであれば、駐車場よりも広場の確保を優先したい。
- 拠点周辺も含めた駐車場の確保(現図書館での跡地利用を含む)、公共交通機関のサービス密度(運行本数)向上とルートの再考、駐輪場の確保、歩いて楽しいルートの創出の空間づくりも。

【情報】検討段階からの専用サイトによる情報発信に期待

- にぎわい創出拠点における様々な検討段階からの情報発信を。
- 拠点オープン後は、民間団体との連携によるサイトでの情報発信を。

【魅力】ターゲットを想定した拠点での活動を意識した施設整備を!!

- 【参考資料②】を参照されたい

にぎわい創出拠点の市民ワークショップ(第4回)

〔最終回検討テーマ〕 **施設を育てる**—施設開業後の市民協働の可能性について

実施結果

2025年10月4日(土)開催
14:00~16:10(赤石楽舎)
参加者数:19名/見学3名



市民や活動団体・企業等が関われる活動内容

機能	施設開業後に市民や市民活動団体・企業等が関われることが考えられる活動内容
拠点全体	<ul style="list-style-type: none"> □市民や団体のかかわりを継続させていくためのサポート(定着させるには時間がかかる) □施設の活用や運営に対して、市民が気軽に意見を言うことができる場や機会(市民ワークショップや意見交流会の開催(オンラインも含む)、意見箱の設置) □市民のサポーターやボランティアなどによる関わりづくり □施設の情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・動画作成、学生記者による発信、音声ガイド、見て楽しいPOP制作スタッフ ・YouTube、TikTok等、SNS発信スタッフ 等 □障害のある人も参加しやすい、参画できる仕組み(バリアフリーも) □わくわくする人(ボランティア)を受付に □(不用品等の)ゆずりますコーナー(ボードの設置)の管理・運営 など
図書館・情報	<ul style="list-style-type: none"> □図書館のボランティア活動(運営スタッフ等)、読み聞かせボランティア、古文書等の整理ボランティア、蔵書のメンテナンス等への参加 □テーマ別、年代別の図書館運営協議会への参加 □市民の蔵書の期間限定での展示 □移動図書館との連携による遠方の人や情報のマッチング □「図書館だより」などのタイムリーな情報発信への協力 □市民参加型のイベント(読み聞かせや紙芝居など)、市民が自由に持ち寄り・持って帰ることができる本コーナー □市民や学生もかかわりやすくするための市民限定の福利厚生 □テーマ毎の会合の組織化・会合への参加 □本の紹介・アドバイザー(流行の本、古典) □新刊おススメ本などを楽しいPOPにする □図書館で子どもを預かる機能や仕組み □図書館に来なくても、パソコンやスマホで本を読む機能 など
織物文化・銘仙	<ul style="list-style-type: none"> □文化伝承のインストラクター・織物文化並びに関連する文化・技術(編み物等)のインストラクター、銘仙試着コーナーのアドバイザー・インストラクター、ガイドの育成・組織化 □織物だけでなく広く伊勢崎の歴史についての語り部 □銘仙を普段着として着る文化醸成、レンタル銘仙、銘仙着せ替え電子パネル □成人式や誕生日、七五三などの記念日に銘仙を着て写真撮影する文化の定着 □銘仙の歴史や織物の見学などを通して高齢者から若者・学生に伝える など □興味・関心のない人へのアピール 等
創業・チャレンジ インキュベーション	<ul style="list-style-type: none"> □共通価値創造型の起業・創業、NPO活動等への支援(支援制度の創設、運営スタッフとして参加等) □創業希望者へのオンライン相談アドバイザー □創業支援アドバイザー(起業した人の紹介、座談会、学生とのマッチング等) □運営にかかる資金的支援への関わり(クラウドファンディングや協賛店の売上の〇%の寄付、銘仙募金など) □起業のノウハウ発表会や交流会、プレゼン大会、起業のデータベース化、就活生向けのイベントや交流会 □くわまるのデザイン無料化 □高校生も参加できるチャレンジショップ・お試しま証実験の場づくり・市内飲食店等のメニュー試食会への出店 □新しい銘仙づくりを起業につなげる □(仮称)社会課題解決活動センターの運営スタッフとしての参加 □各企業の特徴をアピールできる場の創設(企業としての参加) □市内の子ども食堂と農家さんの連携の仕組み作り、フードバンクの情報拠点 など
広場	<ul style="list-style-type: none"> □キッチンカー・Pop-up shopの出店・管理への参加 □広場でのイベント(年間スケジュール)の企画・運営としての参加、市民イベント(市民が伊勢崎の魅力を伝えるイベント)の開催と資金的支援 □キャンプファイヤーやダンスなどの楽しいイベントの企画・実施 □子どもに昔遊びなどを教えながら一緒に遊ぶプレイリーダー □テーマごとのまちなか探検会の開催、アーティストや芸人を呼ぶ など

市民ワークショップ(第4回)の総括

ポイント① 各機能の担当部局間の連携を強めて魅力的な施設づくりに期待!!

複合機能を構成する施設について、市役所内では教育委員会(図書館)、文化財、商工、中心市街地、都市計画、企画等、様々な部署で実現に向けて検討されていると思われる。**各部署の垣根を下げ、部署間の連携を強めて、利用者目線での施設づくりに期待したい。**

ポイント② 各機能が“掛け算の思考”により生じる魅力的な活動・サービスの展開に期待!!

図書館、伝承機能、インキュベーション機能のそれぞれにおいて魅力的な活動・サービスが実現することはもちろんのこと、**各機能が掛け合わさることで生じる活動・サービスにも期待したい。**例えば、図書館にインキュベーションや起業・創業・経営・組織論等に関する書籍・情報や、織物・地元企業に関する書籍、情報コーナーの設置、インキュベーションで生まれたソーシャルビジネスの試験的な場の創出等が想定される。

ポイント③ 市民の声(期待)が継続して届く仕組みづくりに期待!!

4回のワークショップを通じて、利用者の視線で様々なアイデアが提案された。これらの意見に傾聴され、アイデアの一つ一つの実現に尽力いただきたい。また、実現までの様々な機会に、**市民の声(期待)が届くような仕組み**を継続的に設けられたい。なにより大切なことは、**構想で終わらず、実現・実行すること**である。



【ワークショップ参加者の総括意見より(抜粋)】

- このまちに生まれてよかった、と思える施設にしていきたい。
- 幼少の頃は本当ににぎわっていた。にぎわい拠点が実現して、またにぎわう風景を見たい。
- 地域の経済発展につながるきっかけとなる拠点となることを願っている。
- ワークショップでの意見・声が消えないようにしてほしい。
- 施設が完成した際には、このメンバーで再会し、施設の運営支援に関わりたいと思う。
- アイデアの一つでも実現することを願っている。

>>>市民の声が届く仕組みを継続してつくってほしい<<<

